



# 羅臼町議会だより



# しれとこ

第2回臨時議会・第3回定例議会	2~3
一般質問	4
大雨による土砂災害	5
第4回議会報告会	6
Zoom up! (地熱協議会視察研修)	7

平成28年

第150号

10月25日



英嶺山登ったぞ！（春松小4年生）

# 平成28年 第2回臨時議会

7月28日、第2回臨時議会が開催され、工事請負契約の締結3件、公有水面埋立ての免許の出願に伴う意見については、すべて原案通り可決した。

## 工事請負契約の締結

工事名	羅臼町立知床未来中学校建設 建設主体工事
契約額	14億9,040万円
契約先	早水・廣木・酒井・加我特定建設工事共同企業体
工事名	羅臼町立知床未来中学校建設 電気設備工事
契約額	1億9,872万円
契約先	高部・羅臼電工社・中村特定建設工事共同企業体
工事名	羅臼町立知床未来中学校建設 機械設備工事
契約額	1億7,388万円
契約先	池田・奥村・大水特定建設工事共同企業体

(参考) 予定期工期: 平成28年8月1日から平成30年2月28日まで

・位置  
羅臼町松法町三十九番地十五及び二四五番地先の  
公有水面  
三八四・二五<sup>2</sup>m

・免許の出願に伴う意見



羅臼町立知床未来中学校 完成図

9月9日、第3回定例議会が開催された。議員の一般質問、一般及び特別会計の補正予算、人事案件、意見書などすべて原案通り可決した。

※数字は万円未満四捨五入

## 平成28年 第3回定例議会

### 平成28年度羅臼町一般会計補正予算（※補正予算抜粋）

補正予算 60万円を増額

予算総額

41億9,036万円

総務費	・町営住宅に要する経費 ・地域振興に要する経費 ・移住体験促進事業に要する経費 ・その他電算システム等運用に要する経費	△1,100万円 109万円 288万円 150万円
民生費	・臨時福祉給付金に要する経費 ・障がい者自立支援事業に要する経費	214万円 115万円

## 平成28年度羅臼町国民健康保険事業会計補正予算（※補正予算抜粋）

補正予算 3,835万円を増額

## 予算総額

10億4,783万円

総務費

・その他国保一般事務に要する経費

3,835万円

## 平成28年度羅臼町介護保険事業特別会計補正予算（※補正予算抜粋）

補正予算 1,596万円を増額

## 予算総額

4億3,864万円

総務費

・介護保険業務に要する経費

1,003万円

諸支出金

・国庫予担金等返還金

593万円

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

## 意見書

任期 平成二十八年十月一  
日～平成三十一年九  
月三十日

葛 船見町  
西 良(新任) 浩

任命  
・羅臼町教育委員会委員の  
任命

任期 平成二十八年十月一  
日～平成三十一年九  
月三十日

山 知昭町  
崎 岐(再任) 守

の任命  
・羅臼町教育委員会教育長

## 鮮魚取扱高

(平成28年9月7日現在)

(単位：千円)

魚種名	当期取扱高	前年度同期取扱高
ほっけ	44,548	88,352
ます	212,351	241,873
いか	20	66,791
すけそ	896,219	721,254
かれい	81,206	85,141
めんめ	108,151	140,093
うに	239,847	275,445
あきさけ	29,212	186,654
その他	929,669	861,732
合計	2,541,223	2,667,335

※主な魚種（抜粋）

※うには殻つき、塩水うに含む

## 人事案件

## 平成二十七年度決算特別委員会設置

平成二十七年度各会計特別委員会に付託され、審議されます。（十ページ参照）

## 町長の行政報告から

・知床らうす国民健康保険  
診療所 田川所長の退職について  
本年九月末日をもちまして田川所長が退職され、元診療所長の手塚 誠氏が着任されました。  
・大雨による土砂災害の発生について  
八月十五日から降り続いた大雨により海岸町地区の大規模土砂災害が発生しました。  
・地下熱資源掘削調査について  
電磁波探査などによる地表調査から有望な熱水が賦存している可能性が高いことが判明。十月中旬から来年二月までの期間で、掘削調査を実施する予定です。

# 行政の考え方を問う

1人の議員による1件の質問がなされました。

# 平成28年 第3回定例議会

# 一般質問

副町長 各避難所が災害に適しているかどうか検討する

## 高島議員 防災対策・対応の再検証について

の方々、更には観光客や仕事関係の方々も取り残されたまま情報は防災無線のみの状態で分断され、孤立状態となりました。

この大規模土砂災害は四年前に作成された「らうす

町防災ハザードブック

町長

土砂災害発生の原因は、八月十五日から断続的に続いた記録的な大雨により岩盤上に堆積した土砂が崩落したものと考へる。

十六時四十五分に発生後  
直ちに災害警戒本部を設置  
し、十八時に災害対策本部  
に切り替え、十八時四十分  
には海岸町、共栄町に避難  
指示を発令し、岬町コミュニ

ニティセンターと羅白小に避難所を開設し、避難者の受け入れを行い、災害発生の翌日には、観光船による定期船を運航しました。

今後の課題は「羅臼町地域防災計画」を基本に自助共助、公助が効果的に推進されるよう日頃から防災訓練等の充実を図つて参りま

答弁の内容を要約して載せておきます。

## 一般質問と答弁は 要約されています



# 大雨による 土砂災害

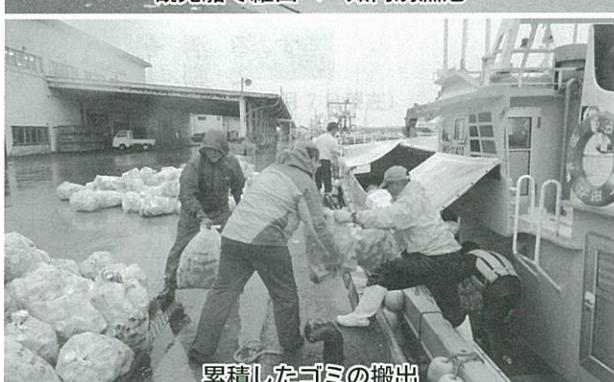
宮腰 實議員



閻生なく信電復旧



観光船で羅臼へ 知田別漁港



#### 累積したゴミの搬出



### 礼文町国道の土砂崩れ

た土砂崩れによつて、現場以北の二六六世帯、七六〇人が孤立しました。また、六一〇戸が停電し、不安な日々を過ごしました。羅臼町では三つの台風の相次ぐ上陸で、十六日から断続的に大量の雨が降り続き地盤が緩んでいました。

避難所となつた岬町コミュニティセンターには、地域住民や閉じ込められ

災害発生を受け、消防や警察・海上保安署・自衛隊・町職員や北電・各通信会社や道路管理者である北海道職員の皆さんが昼夜を通して献身的な復旧活動に従事されました。羅臼漁港と孤立した岬町・知円別漁港とは、観光協議会の協力を頂き翌日には定期船が運航されました。

による「焼き出し」ボランティアは、避難者の皆さんをおおいに元気づけて下さいました。しかし、復旧への努力をあざ笑うがごとく、次の台風による国道の土砂崩れにより、尊い人命が奪われてしましました。自然災害への備えや人と人の絆の大切さを痛感させられました。



## 海岸町の土砂災害

# 第4回 議会報告会

議会運営委員会

委員長 松原 臣

去る八月九日、午後二時より役場会議室において、第一回臨時議会（五月二十六日）、第二回定例議会（六月十六日）の議会報告会を、老人クラブ連合会役員の皆様にお忙しい中お集まり頂き開催致しました。

今回の報告会は、臨時議会の平成二十七年一般会計専決処分と一般会計補正並びに人事案件、条例の一部改正、又、定例議会では平成二十七年一般会計繰越明

許費、平成二十八年一般会計補正予算、条例改正など審議された内容を各所管常任委員長より説明報告致しました。さらに、一般質問者（三名）からの質問内容と町長の回答を簡略に説明致しました。

又、地熱利用視察研修（七月六日～七日）の報告も行い、森地熱発電所、地熱利用園芸ハウスなど研修の経過報告を致しました。

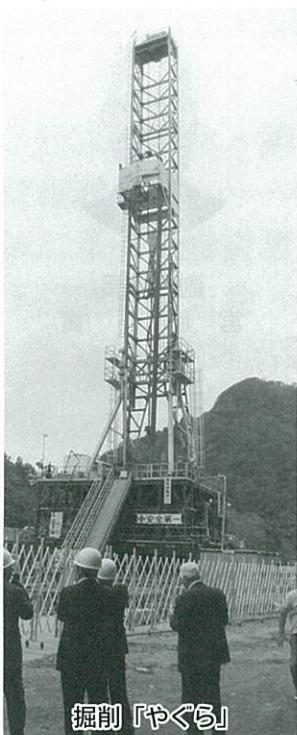
最後に参加者から質問を頂き、議員からお答え出来る範囲で説明致しました。これからも議会報告会を充実させ、町民皆様に議会活動への理解を深めて頂けるよう、努力をして参ります。



議員報告会をご希望される団体やグループ等は、議会事務局までご連絡下さい。（電話：87-2180）



# Zoom up!



掘削「やぐら」

温泉街に近いため、温泉モニタリングや河川水質調査をしながら、周囲の環境に配慮した工事を進めていきと説明を受ける。

日の日程で、地域協議会の視察研修に議会から参加。当町を襲った豪雨被害により当初予定より少ない人員となつたが、地下資源を活用した先進的取組を進めている道南地区の状況を視察した。

八雲町市街地から車で三十分程の距離にある鉛川温泉地区で掘削が進められている。

高さ五十メートル程の「やぐら」から二十四時間体制で掘削が進められており、約三ヶ月かけて実施され、資源量、生産能力等を評価して地熱発電に有効かどうかを判断して行く事になつてている。

温泉街に近いため、温泉モニタリングや河川水質調査をしながら、周囲の環境に配慮した工事を進めていきと説明を受ける。

## 八雲町 地熱掘削現場

## 八雲町熊石地区の アワビ養殖施設

# 地下資源活用地域協議会道南視察研修

加藤 勉 議員

海洋深層水は海水温が一・二度低いため、温泉水による温度管理が重要となつていて。



養殖された「アワビ」

行っている。葉物野菜十種類を栽培し、道内産野菜として高値で取引され主に道外に出荷されている。

水耕栽培に使用する水は安全性を考慮して全て水道水を使っている。

手作業による栽培で人手も必要としているが、時期的な作業でありパートでも充分労働力は確保出来ている。

この農場では、関連農場からの作物も含めて、ここに集荷しパック詰めされ出荷している。

### ※ベビーリーフ

発芽後三十日ほどで収穫ますが、内容などは一四九号の議会だよりをご参考照下さい。

## アド・ワン・ファーム 丘珠農場

札幌市郊外の丘珠に農業法人が都市型農業としてベビーリーフを栽培している。一棟二、三〇〇畳の農場を太陽光による水耕栽培を行つて出荷している。



温室で育つベビーリーフ

した野菜やハーブなどの若い葉っぱのことです。水菜、ほうれん草、レタス、からし菜、ルッコラなどがある。

## 議会の動き

### 7月

- 26日 議会運営委員会  
27日 経済文教・総務民生常任委員会  
28日 第2回臨時町議会

### 8月

- 2日～6日 根室地方の地域づくり総合開発に関する要望・提言と意見交換会（札幌市・東京都）  
9日 議会報告会  
15日 羅臼町戦没者慰靈祭  
25日 全員協議会  
27日～28日 故郷札幌らうす会交流会（札幌市）  
31日 全員協議会

### 9月

- 5日 議会運営委員会  
6日 経済文教常任委員会  
7日 総務民生常任委員会  
8日 議会運営委員会  
全員協議会  
9日 第3回定期町議会  
13日～15日 地下資源活用視察研修（森町・八雲町・札幌市）  
議長欠席、副議長・議員2名出席  
20日 議会だより編集特別委員会  
26日 平成28年度根室町村議会議長会第1回臨時総会  
（標津町）  
正・副議長  
29日 議会だより編集特別委員会

### 10月

- 1日 釧路・根室地方総合開発期成会要望会（釧路市）  
議長  
6日 第1回決算特別委員会・議会だより編集特別委員会  
13日 第2回決算特別委員会・議会だより編集特別委員会  
18日 第3回決算特別委員会  
22日 平成28年度根室町村議会議長会主催議員研修会  
（中標津町）  
24日 第4回決算特別委員会

## 各会計決算 特別委員会設置

平成27年度各会計決算特別委員会に付託され、審議されます。

### 決算特別委員



委員長  
田 中 良



副委員長  
宮 腰 實



委 員  
高 島 讓 二



委 員  
加 藤 勉

### 付託案件

- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険事業特別会計決算
- 介護保険事業特別会計決算
- 後期高齢者医療特別会計決算
- 国民健康保険診療所特別会計決算
- 水道事業会計決算

海岸町の土砂崩れでは重傷者一名、長期間の通行止めや停電に見舞われ、多くの人々が不自由な暮らしを強いられ、続く台風では、礼文町国道の土砂崩れにより、一名の尊い命が失われた。羅臼名産の昆布漁、秋鮭定置網漁の始まりとあって羅臼の主産業にも大きな影響を及ぼした。今号にも関連記事が多く掲載され、改めて自然災害の恐ろしさを実感させられた。災害への備えと絆の大切さ、そして立ち向かう人々の逞しさを感じさせてもらつた。

八月半ばから降り続いた雨に、羅臼の人々が苦情を言いはじめた頃、更に大雨をもたらす台風が相次いで北海道に上陸した。急峻な崖下に暮らす羅臼の人々に恐れられてはいたものの、「これ程の大雨が降るとは」と皆が驚く程であった。

編集を  
終えで